

乙 第 号

峯 正志 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

## 論文審査の要旨及び担当者

報告番号	乙第	号	氏名	峯 正志
論文審査担当者	委員長		教授	今村 知明
	委員		講師	佐伯 圭吾
	委員		教授	緒方 奈保子
	(指導教員)			

### 主論文

Association of Visual Acuity and Cognitive Impairment in Older Individuals:

Fujiwara-kyo Eye Study

高齢者における視機能と認知機能障害の関連： 藤原京アイスタディより

Masashi Mine, Kimie Miyata, Masayuki Morikawa, Tomo Nishi,  
Nozomi Okamoto, Ryo Kawasaki, Hidetoshi Yamashita,  
Norio Kurumatani, Nahoko Ogata.

BioResearch Open Access. 5(1): 228-234, 2016

## 論文審査の要旨

本研究は、高齢者における視力と認知機能の関連を 2,818 人という大規模な疫学調査(横断研究)によって検討した国内では初めての報告である。海外からは複数の大規模縦断分析により、視力と認知機能の関連がすでに報告されているが、視力が厳密に測定されている報告は少なく、関連を否定する報告も出ており、まだ関連性は明確では無い。今回の研究は大人数の視力データを厳密に測定され、認知機能障害をアウトカムとする多重ロジスティック分析を用いて、必要な交絡要因とは独立した、視力との有意な関連が適切に統計分析手法によって示されている。一方、本研究の限界点は、曝露要因とアウトカムを同時に測定した横断研究であるため、因果の方向性を議論することが困難な点にあるが、今後の認知機能の変化に着目した縦断的分析が計画されており、さらなる研究の発展が期待される。

認知機能障害発症には年齢、学歴や文化的背景の関与が大きいと、世界で最も高齢化が進んだ日本で、視機能との関連を確認することの意義は大きいと考えられる。以上のことより参考論文と合わせて、博士の学位に相当すると審査する。

## 参 考 論 文

1. 駆逐性出血に臨床病理的検索を行った1例  
    峯正志, 名和良晃, 福原潤, 原嘉昭  
    臨床眼科:58;551-555, 2004
2. The prevalence of hyperopia among people with 20/20 uncorrected visual acuity  
    Masashi Mine, Yoshiaki Nawa, Yoshiaki Hara  
    Journal of Nara Medical Association : 59; 101・104, 2008
3. 奈良県立医科大学附属病院における急性原発閉塞隅角症に対する治療  
    峯正志, 岡本全弘, 湯川英一, 松浦豊明, 原嘉昭  
    眼科紀要:3(11) ;1 163・1166, 2010

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに眼科学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

平成 29 年 3 月 7 日

学位審査委員長

公衆衛生学

教 授 今村 知明

学位審査委員

地域健康医学

講 師 佐伯 圭吾

学位審査委員（指導教員）

視覚統合医学

教 授 緒方 奈保子